



VB400

VB400 ボディ・カメラ (BWC)

事態を確実に掌握



VB400
頑強
パワフル
連携
安全

VB400

VB400は日々の生活で起きる事故、事件、脅威に対処する現場をサポートします。第三者視点の映像を記録することによって、関係者すべてに公平な証拠を提供することができます。リアルタイムまたは事後に記録映像によって、行動決定がなされる様子を実際に見ることができます。

VB400は、既存のワークフローにシームレスにフィットします。すべての設定とメンテナンスは、使いやすい後方支援ソフトウェアであるVideoManagerで事前に行うことができるため、作業員はカメラを手に取り、最小限のトレーニング時間で作業を開始することができます。

また、デュアルマイク、広角レンズ、直感的な操作ボタンなどの機能により、あらゆるやり取りを最初から最後まで高画質で撮影することが可能です。

すべての映像はVB400に暗号化されて保存され、再接続された時点で安全かつ自動的にダウンロードされます。

しかし、カメラは業務の一部ではありません。固定式ビデオやBluetoothセンサなど、他のテクノロジーと優れた接続性を持つVB400を組み合わせることで、より完全で効果的な対応が可能になります。





常に録画可能な 状態

VB400は、ボディは堅牢でありながら制服などの服装にフィットしやすく、どんな環境の現場でもあらゆる面で長く使えるよう設計

ボディ・カメラ(BWC)は、さまざまな業務シフト、環境、制服に対応できるよう、組織の日常業務に適合する必要があります。そのため、VB400はチームと同じようにタフで、どんな服装にも対応し、勤務時間内ずっと録画でき、どんな状況でも耐えることができるよう設計されています。



耐気温・耐天候性

必要な録画を環境が邪魔をすることがあってはなりません。風、雨、雪から保護するIP67の規格に準拠しており、-20°Cから+50°Cの温度で作動します。



業務時間中切れないバッテリー

1回の充電で最大12時間の連続撮影が可能です。スタンバイモードとセーフティモードを設定することで、バッテリーの寿命を保つことができます。



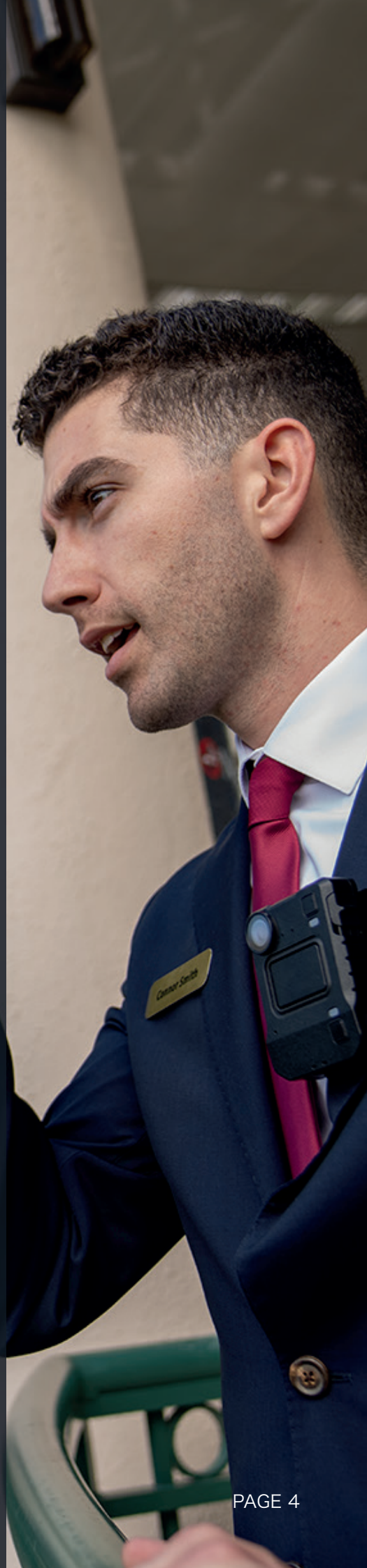
堅牢なボディ

弾力性のある外筐体により、大切な情報を保護します。MIL STD 810Gを取得したVB400は、どんな過酷な仕事にも耐えられるように作られています。



安全な取り付け方法

保護ベスト、シャツ、ジャケットのいずれを着用しても、VB400は制服にしっかりと固定されるから安心です。





直感的な操作で すぐに役立つ



人間工学に基づいたデザイン、シンプルかつセキュアな端末管理により、VB400は簡単に使用でき、必要なときに優れた証拠能力の高い映像を撮影することができます。

現場従業員にはすでに多くの業務があり、事案の発生時にボディ・カメラ（BWC）の操作に集中する時間はありません。VB400の動作をチーム内のさまざまな役割や責任に対応させ、事前・事後記録を可能にすることで、重要な証拠映像を簡単に入手することができますようになります。



設定可能な記録方式

VB400の5つのボタンにさまざまな操作を割り当て、必要に応じてLED、バイブレーション、ピープ音の有無を設定することができます。



記録開始前、記録終了後の録画

事態が発生した直前と直後の数秒間、あるいは数分間を記録することで、完全な状況を記録し、手順が守られていることを確認することができます。



高画質

0.2ルクスの暗闇でも、1080p、30fps、広角120°の高精細な水平画角で、事象を確認できます。



すぐに映像を転送

VB400を専用ドックに接続すると、保存されている映像は自動的にVideoManagerに転送され、ユーザーの操作は必要ありません。





大局的に 判断

1台のカメラを使用する場合でも、身体装着型と固定型のライブ映像を同じVMSにストリーミングする場合でも、VB400の連結性により、状況を完全に理解することができます。

ボディ・カメラ(BWC)は、個人の視点からの貴重な情報を提供します。VB400は、この情報を後から得るだけでなく、複数の接続方法を備えており、必要なときに必要な情報を得ることができます。あらゆるアングルを確実に記録する共有録画、固定CCTVカメラを扱うVMSへのWi-Fiストリーミング、内蔵GPSによるチーム位置の把握が可能です。



サードパーティ製VMSとの統合

ボディ・カメラ(BWC)と固定カメラのライブストリームをONVIF対応プラットフォームで一元化することで、既存の設備投資を最大限に活用できます。



ピアアシストレコーディング

VB400をトリガーとして、半径内にある別のVB400が録画を開始すると、即座に録画が開始されるため、対応する作業員の手間なく記録がスタートします。



GPSによる位置情報追跡

Tactical VideoManager 相互接続マップを使用して、作業員の安全を確保します。または、VideoManagerの強力なAPIを活用して、独自のソフトウェアと連携させることもできます。



無線機(近日予定)や周辺機器と連携

無線機が緊急事態に陥った時や、他の機器が取り外された時にVB400が録画を開始し、チームの業務負担を軽減することができます。





証拠保全の 維持

VB400は、記録した映像を自動的に暗号化し、セキュリティを確保するため、処理と検証の目的で、VIDEOMANAGERを介して、権限のあるユーザだけがアクセスできるように設定されています。

チームが状況を解決した後、撮影した証拠映像を転送するまで安全に保管することが重要です。VB400のハードウェアは、暗号化された内部ストレージに侵入できないように設計されており、カメラが再ドッキングされ、VideoManagerの承認された環境に接続されていない限り、映像を見ることはできません。



密閉型ユニットデザイン

VB400に保存された映像は、VideoManagerにダウンロードされない限り、オペレータや他の人がアクセスすることはできません。



保管時および転送時の暗号化

VB400は、AES256の暗号化で記録映像を保護します。ドッキング後は、TLS1.2プロトコルでVideoManagerにデータをダウンロードします。



システム固有のアクセスコントロールキー

VB400に保存された映像は、対応するキーを持つVideoManagerの実機にカメラが接続されない限り、復元できません。



映像検証

認証書による映像署名やSHA256ハッシュを利用して、映像が改ざんや編集されていないことを確認することができます。



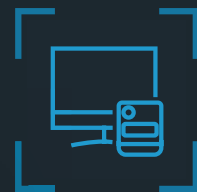


ユーザごとに カメラを最適化

VIDEOMANAGER: 簡単にデバイスとビデオの管理

ボディ・カメラ（BWC）の管理は、難しくはありません。VideoManagerは、カメラの管理、録画映像の効率的な保存、準備、共有に必要な柔軟性を備えており、導入規模やプログラムの高度さに関係なく、簡単に利用できます。





カメラ動作のカスタマイズ

抑止力として、また重要な証拠を撮影するために、組織に合わせてデバイスを調整することで、チームが重要な瞬間に容易にデバイスを使用することが可能です。



安全な身体装着型ビデオの処理

VideoManagerは、VB400で作成されたメディアをそのまま保存し、暗号化することが可能です。



インターフェースと統合

Bluetooth周辺機器、サードパーティ製VMS、VBコンパニオン・アプリなどへの接続により、カメラを最大限に活用することができます。



モニタとアップグレード

最小限の操作で運用を継続できます。ユーザへの割り当てからファームウェアのアップグレードまで、カメラのワークフローのあらゆる側面をVideoManagerで簡単に行うことができます。



詳細は

www.motorolasolutions.com/ja_jp/video-security-access-control/body-worn-cameras/vb400.html



MOTOROLA SOLUTIONS

モトローラ、MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONSおよびモトローラのロゴマークはMotorola Trademark Holdings, LLC.の登録商標であり、そのライセンスに基づき使用しています。文中に記載されている他の製品名やサービス名等は、各社の商標または登録商標です。

© Motorola Solutions, Inc. 2023. All right reserved. 02-2023 [LD02]